

報道担当各位

2009年10月13日

株式会社アイネット  
ヴェイムネット株式会社

**「仮想化オール・イン・ワン サービス (VAiOS)」の提供を開始  
TCOを40%以上、IT資産を50%以下に削減**

～日本初の仮想化運用代行センター (VOC™) と国内最高クラスのデータセンターを融合～

株式会社アイネット（以下：アイネット）と仮想化ビジネスコンサルタントのヴェイムネット株式会社（本社：東京、代表取締役社長：津村英樹、以下：VMnet）は、アイネットが今年6月に竣工した国内最高クラスのデータセンターに、2社共同で企画・開発した仮想化環境の運用代行機能と、PaaS（Platform as a Service）サービス機能を提供する日本初の『仮想化運用代行センター：Virtualization Operation Center（商標登録申請中、以下：VOC™）』を開設しました。

アイネットとVMnetは、VOC™を核に仮想化システムの設計・構築、運用・監視、そしてプライベート・クラウドサービスを全てワンストップで提供する『仮想化オール・イン・ワン サービス：Virtualization All in One Services（以下：VAiOS）』を2009年10月20日から提供開始致します。

**【仮想化運用代行センター (VOC™) 開設の背景】**

昨年の金融危機以降、企業経営を取り巻く経営環境は激変し、事業の拡大から、設備・雇用・IT投資など、あらゆるコストの削減が喫緊の課題となっています。また、企業IT利用についても、数十年に1度と言った構造変化の波—ITリソース・アプリケーションなどを仮想化・可視化し、集約・簡素化された外部のIT環境を利用して、従来よりも劇的に運用費用を削減すると同時に、ネットワークを通じて自在に利用する—「クラウドサービス」・「クラウドソーシング」が登場し、経営環境の変化と相まって、その利用の拡大も大きく期待されています。

しかしながら、仮想化構築ニーズが急拡大する一方、日本における仮想化の導入は大企業に集中し、TCO削減効果はサーバー統合による初期導入コスト削減に留まっていることが多いのが現状です。また、多くの中堅・中小企業は、技術革新の激しいIT技術に追従できなくなってきており、地域格差だけではない企業規模間でのデジタル・デバイドが起きています。

加えて、仮想化運用技術者の不足、データセンター等運用環境の整備不足、仮想化環境構築後の運用最適化・開発環境改善・アプリケーション延命・BCPニーズへの対応など、大手・中堅企業を問わず克服すべき課題が多いのも事実です。

こうした状況下、仮想化に適した次世代型データセンターを有するアイネットは、こ

のようなニーズを先取りし、昨年から本格的に仮想化技術者の育成・仮想化運用ノウハウの蓄積を進めてまいりました。

また、VMnetは、仮想化の運用を顧客一社が負担するのではなく、データセンター事業者の優れた仮想化運用のノウハウを複数の顧客で共有することで、このような状況を打開できるソリューション『VOC™サービス』の企画を推進してまいりました。

ここに、2社は、共同で同サービスの開発と普及策で、認識が一致し、共同で事業を推進していくこととなりました。

## 【仮想化運用代行センター（VOC™）サービスの概要】

### 1. 仮想環境の運用代行支援

VOC™は、アイネットがヴァイエムウェア株式会社のVAC（VMware Authorized Consultant）パートナーとして、ヴァイエムウェア株式会社のTAM（Technical Account Manager）の協力のもとに作成した標準仮想化運用仕様書をベースにした、高度で技術的に裏打ちされた仮想化運用代行サービスをアイネットのデータセンター内および遠隔からのリモート環境で提供します。

仮想環境が拡大する中、自社で一から運用管理者の育成、運用仕様書の作成を行うには多大な投資と期間が必要になります。こうした問題を、VOC™サービスを複数のお客様が共有することで、様々な仮想化のメリットを簡単かつ低価格で利用することができます。

また、VOC™は、首都圏のお客様に限らず、日本各地にあるヴァイエムウェア製品による仮想化基盤を構築したデータセンター事業者、企業ユーザーやサービスプロバイダをネットワークで繋ぎ、仮想化運用代行や仮想化リモートレプリケーションなどのサービスを提供することが可能です。

アイネットとVMnetは共同で、アイネットのデータセンターを、全国規模での仮想化フランチャイズの中核施設となることを目指していきます。

### 2. PaaSによるSLAをともなった同一環境の提供

#### ＝顧客システム連携型クラウドサービス（Easy Cloud Service）

VOC™の高度な仮想化システムの運用支援・代行サービスは、データセンターにアウトソースしたお客様の仮想化システムを、効率的に維持・運営するために、お客様がデータセンターに設置する仮想サーバーと同一仕様のクローン環境を、アイネットでは、PaaS型で提供することが可能です。

クラウドコンピューティングは、従来、ベンダーサイドにアウトソースし、その後の維持・運用は、ベンダーサイドに依存する「ブラックボックス型」のサービスが多

いのが実情です。そのため、システムの維持・変更に必要なシステム環境（ハードウェアリソース、ソフトウェア環境等）を保証する「サービスレベル」が、アウトソースした顧客のシステムの要求に応えられないことが、普及の阻害要因となっていました。

アイネットのVOC™では、データセンターに設置されている顧客資産の仮想サーバーと同一環境を、同センター内にあるPaaS=クラウドエリアに展開し、顧客の社内システムと全く同じ仕様・サービスレベルを保証致します。

VAiOSを利用することで、自社資産として高度な仮想化システムを所持しながら、一方、部分的なアプリケーションの変更などに伴う短期的なテスト・検証、そのための事前準備や動作環境検証など面倒な検証プロセスを効率化できます。このようなパブリック・クラウドでは実現できていない、セキュアなプライベート・クラウド・コンピューティング環境を低コストで利用することができます。

#### 【仮想化オール・イン・ワン サービス (VAiOS) の概要】

『仮想化オール・イン・ワン サービス (VAiOS)』は、VOC™サービスを中心に、仮想化構築にとどまらず、「仮想化導入コンサルテーション」、「現状把握（キャパシティ・プランニング）」、「仮想化システム設計・構築」、「P2V（物理→仮想化環境移行）」、「アプリケーション稼動検証」、「運用仕様作成補助or 運用代行」、「オンサイト・オフサイト稼動状況管理」、「SaaS、PaaS、HaaSサービス」、「クラウド連携システム構築・運用」など、システムの構築から継続・安定したIT環境をトータルに提供いたします。

アイネットのデータセンターを利用することにより、従来、自前のセンターや他のデータセンター利用に比べ、仮想化システムのより高い効率化を実現でき、VCP（VMware認定技術者）による高度な運用サービスが受けられることも合わせ、高品質なサービスながら、TCOで従来比率40%以上削減することが可能となります。また、VAiOSを利用することで、自社資産として高度な仮想化システムを所持しながら、短期的な用途などではアイネットのPaaSを共用することにより、IT投資を最適化する本格的なプライベート・クラウド・コンピューティング環境を利用できます。

## 【仮想化オール・イン・ワン サービス (VAiOS) メニュー】

### 1. 仮想化設計・構築サービス

仮想化導入に向けた目的の明確化、要件定義を行います。同時に、現状システムのアセスメントを行い、統合率、ROIの査定を行いレポート作成いたします。

#### (1) 要件定義・現状把握・基本設計

- ① 仮想化による標準化計画の企画
- ② キャパシティ・プランニングによるサイジング
- ③ 複数の仮想化のメリットを実現できる設計

#### (2) 仮想化基盤構築

- ① VMware ConverterによるP2Vサービス
- ② アプリケーション動作検証支援サービス
- ③ 試験運用・構築・展開

### 2. 仮想化運用コンサルティングサービス

#### (1) 仮想化基本運用

- (2) リソース管理 チューニング
- (3) 可用性
- (4) 仮想デスクトップ
- (5) 仮想化DR

※仮想化DRではファルコンストアの製品を利用します。

### 3. 仮想化運用代行サービス (VOC™)

仮想化の運用を自社内で行うには、技術者の養成・教育期間等に多額の予算・人的投資が必須であり、それらを代行するサービスを提供します。

#### (1) 仮想化オペレーションサービス (VOC™サービス)

- ① 仮想マシン作成、構成変更
- ② 仮想環境監視
- ③ スケジュール設定
- ④ リソース・モニタリング
- ⑤ アップデート
- ⑥ HA管理 (VMware HA)
- ⑦ バックアップ (VCBベース) 他

#### (2) PaaS連携型クラウドサービス (Easy Cloud Service-ビジネス特許申請中)

- ① ハウジング-PaaSのROIコンサルティング
- ② 自社資産-PaaSと連携した統合管理、標準又はカスタム対応のSaaS

**【仮想化オール・イン・ワン サービス (VAiOS) のメリット】**

**トータルな仮想化サービスを安価且つ高品質で提供**

1. 最適な導入計画により、投資回収期間の短期化を実現
  - (1)キャパシティ・プランニングによる統合効果アセスメント
  - (2)初期導入コスト+運用・維持コストの削減両方を実現できる設計
  - (3)複数のステップでより多くの仮想化のメリットを実現できるIT基盤
  
2. 業界初VOC™サービスにより運用負荷軽減
  - (1)仮想化認定技術者による高度な仮想化運用支援・代行サービスが可能
  - (2)リモートもしくはデータセンター内ハウジング環境で集中管理により運用コスト低減
  - (3)データセンター内のPaaSエリアと連携することで、簡単に企業内クラウドコンピューティング環境を実現

**[効果]**

- ・ TCOを従来比率40%以上削減
- ・ 運用コストの抑制を5倍以上高めることが可能
- ・ クラウドサービス併用により自社資産50%以下に削減
- ・ IT機器の構成変更、運用・保守コスト削減
- ・ 電気代などランニングコストを大幅に削減
- ・ サーバーの利用開始までの期間の短縮化
- ・ 必要な分だけ利用できる利便性向上
- ・ HA、FTなどにより可用性・信頼性の向上
- ・ セキュリティレベルの向上

**【仮想化オール・イン・ワン サービス (VAiOS) のバックグラウンド】**

アイネットとVMnetではVAiOS提供のため、各種技術者の育成・養成、及びヴィエムウェア株式会社のアライアンス・パートナーシップとして、以下の活動に積極的に関与しています。

- ・ヴィエムウェア株式会社の高度な仮想化技術を最大限有効活用する為にヴィエムウェア認定技術者の育成と養成を、今後、一層進めています。
- ・ヴィエムウェア株式会社のクラウドサービスプロバイダ協議会、正会員15社のメンバーとしての活動に力を入れています。
- ・ヴィエムウェア株式会社が認定するVIPエンタープライズパートナーとして顧客の獲得活動を推進致しています。
- ・VAC (VMware Authorized Consultant) パートナーの取得、並びに、VMwareのプロフェッショナルサービスであるTAM (Technical Account Manager) プログラム契約をヴィエムウェア株式会社と締結しています。

今後、アイネットならびにVMnetは、アイネットのデータセンターをベースに、順次、仮想化サービスやクラウド・サービスメニューの充実やアライアンス・パートナーの充実を図っていきます。

(参考)

## 【アイネット 第2データセンターの概要】

### 1. 首都圏型の利便性・安全性の高いロケーション

今回、新たに建設した第2データセンターは、都心から約37km、海岸線から約9km、標高48mに位置し、水害や液状化の危険が少ない硬質な地盤に災害リスクを考慮して建設されました。首都圏に位置しながら都心からの交通アクセスにも恵まれており、災害対応時にも来館可能な好条件の立地です。

### 2. 国内最高レベルの安全性をもつファシリティ

ハイブリッドTASS構法による免震構造の建物や冗長構成を採用した電源、空調などの設備を備え、災害対策（ディザスタリカバリ）やBCP（事業継続計画）に対応しております。特別高圧66,000ボルトを2系統で受電し、発電装置は停電時にも48時間連続運転が可能で、さらに災害時でも燃料自動給油システムを採用しているため継続運転が可能です。

### 3. 最新のセキュリティ

データセンターのセキュリティは、非接触ICカードとパスワード、生体認証技術（虹彩認証）を採用したアクセス制限、フラッパーゲート、マントラップを組み合わせた入退室管理を実施しています。また、最新のITVカメラによる映像の監視・保存により堅牢なセキュリティシステムを構築しました。

### 4. 環境に配慮したグリーンデータセンター

温熱環境シミュレーションの実施として、高度な熱解析技術や最先端VRシステム「Hybrid Vision（ハイブリッドビジョン）」を活用したエアフロー設計を採用。77cmのフリーアクセス高と階高5mを確保し、天井フラットスラブ採用による空調効率の向上やエネルギー監視システムによる省電力化を図り、全熱交換型換気方式による廃熱回収により、設備・機器等にかかる負荷低減などグリーンITへの対応をしております。

第2データセンターは、建築物総合環境性能評価（CASBEE横浜）において「Aランク」を獲得しました。

### 5. キャリアフリーのネットワーク

ネットワークについては、キャリアフリーとなっております。利用ユーザーのネットワーク早期開通の為に複数キャリアのノードを設置し、導入時から10G以上の高速・大容量通信が提供可能です。

**【商標について】**

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

**【各社概要】**

商 号：株式会社アイネット I-NET CORP.  
本 社：〒220-8401 横浜市西区みなとみらい3-3-1 三菱重工横浜ビル23階  
T E L：045-682-0800（代表）  
設 立：1971年4月22日  
上 場：東京証券取引所市場第一部（証券コード：9600）  
事業概要：情報処理サービス、ソフトウェア開発事業  
売 上 高：253億円（2009年3月期：連結）  
資 本 金：32億円（2009年3月31日現在）  
従 業 員：単独 1,053名，連結 1,712名（2009年4月1日現在）  
資 格 等：厚生労働省 特定労働者派遣事業者  
経済産業省 システムインテグレータ  
総務省 届出電気通信事業者  
JIPDEC プライバシーマーク使用許諾認定  
JQA ISO 9001、JQA ISO 14001、JQA ISO/IEC 27001認証取得  
U R L：http://www.inet.co.jp

商 号：ヴェムネット株式会社 VMnet Corp.  
本 社：〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-1-5 新宿嘉泉ビル8F  
T E L：03-3349-0720  
設 立：2009年4月10日  
事業概要：ビジネス・コンサルティング  
資 本 金：800万円（2009年10月1日現在）  
U R L：http://www.vmnet.co.jp（構築中）

---

**■本件に関するお問合せ先**

株式会社アイネット 広報担当 高宮、鈴木  
〒220-8401 神奈川県横浜市西区みなとみらい3丁目3番1号 三菱重工横浜ビル23階  
TEL：045-682-0808 FAX：045-682-0818 E-mail：[infoir@inet.co.jp](mailto:infoir@inet.co.jp)

ヴェムネット株式会社 津村  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-1-5 新宿嘉泉ビル8F  
TEL：03-3349-0720 FAX：03-5321-6967 E-mail：[info@vmnet.co.jp](mailto:info@vmnet.co.jp)

以上